

世界連邦宣言

いまひとつの世界を

自治体協新聞

発行
世界連邦宣言自治体協
全 国 協 議 会
(事務局=綾部市)
〒623-8501綾部市若竹町8-1
TEL (0773) 42-3280
FAX (0773) 42-4406

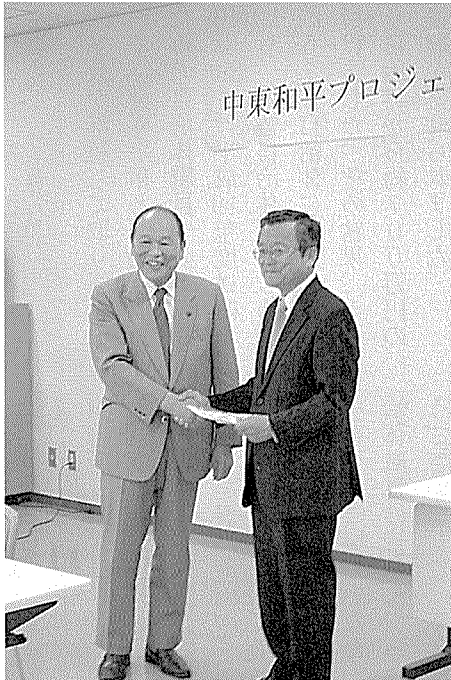
中東和平プロジェクト

2年ぶりに小金井市で

イスラエル、パレスチナの紛争遺児を招いて交流する「中東和平プロジェクト」が7月28日から8月2日まで、東京都小金井市で開催されます。プロジェクトの開催に向け、主催する「中東和平プロジェクトin小金井」実行委員会の設立総会が5月1日、同市内で開催されました。

本会から500万円を補助

実行委員会の設立総会には、本会会長の四方八洲男・綾部長に手渡しました。



補助金目録を手渡した後、固い握手を交わす四方会長と稲葉実行委員長(右)

市長が出席。本会からの補助金目録(500万円)を実行

この後、四方会長が中東和平プロジェクトの取り組みについて講演。四方会長は綾部プロジェクトの経緯を説明した後「来日した若者たちが平和への思いを抱いたとき、一粒の種がまかれ、帰国後に花を咲かせることを目的としている。大会の成功を祈る」とエールを送りました。

同プロジェクトの開催は、平成15年の綾部市、16年の岡山市、17年の徳島市、18年の亀岡市に次いで2年ぶり5回目。小金井市では、着々と準備が進められています。

事業の継続を確認

亀岡プロジェクトは、開催準備は整っていたものの、現地情勢の悪化で直前になって子どもたちが出国できず、やむなくイスラエル、パレスチナの子ども不在で「市民平和交流大会」が開催されました。その後、外務省などの協力で、19年3月には、亀岡を訪れる予定だった子どもたちが現地での対面を果たしました。

平成19年も現地情勢が不安定なことから計画できませんでしたが、同プロジェクトの一環として本会の四方会長、畠中一樹・亀岡市副市長らが現地を訪問しました。現地では、本会が作製した絵本「平和の種」を子どもたちに贈ったほか、両政府の要人と面談。同プロジェクトの継続への協力を確認しました。

対話で平和の体感を



中東和平プロジェクトin小金井 実行委員長、稲葉孝彦

実行委員長コメント

現在、具体的な事業に向けて着々と準備を進めております。平成15年に四方市長の陣頭指揮により綾部市で開催されたから、今回初めて東日本で開催することとなりました。

本会加盟自治体の皆様にも、この「平和の種」をまき続ける事業にご賛同・ご協力をいただきながら進めていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

中東和平プロジェクトin小金井 主な日程 (7/28~8/2) (予定)

- 7月28日 成田空港着
歓迎会など
- 29日 市内見学
日本文化体験
(茶道、華道など)
- 30日 ホームステイ
- 31日 市民交流会
(中央大附属高校講堂)
- 8月1日 表敬訪問
(首相官邸、大使館など)
- 8月2日 都内見学
成田空港から帰国

募金、700万円に

本会が継続して取り組んでいる「世界平和と難民救済のための自治体職員1人100円募金」。平成19年度は昨年12月、加盟自治体をはじめ全国576自治体に協力を呼び掛けました。その結果、109自治体から約700万円の浄財が寄せられました。

募金は、中東和平プロジェクトを主催する小金井実行委

加盟自治体の活動③ 高知県・四万十町

今回は、本年4月1日付けで本会に加盟いただいた高知県・四万十町を紹介いたします。

平成18年3月に合併

四万十町は平成18年3月、窪川町、大正町、十和村の2町1村が合併して誕生。県の南西部に位置し、四万十川の中流域にあり、東南部は土佐湾に面しています。総面積は642.06平方キロ。林野が87.1割を占めています。集落の多くは四万十川とその支流の河川沿いや台地上にあり、一部は土佐湾に面する海岸部



四万十市と共催しているウルトラマラソンには全国から約1800人が参加

員会への補助金として活用するほか、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）と、国連児童基金（UNICEF）に寄託。世界の難民の保護や支援、発展途上国の子どもや妊婦の保健衛生、教育などに役立てられます。

募金にご協力いただいた自治体職員の皆さん、ありがとうございました。本年度も募金活動を行う予定ですので、ご協力をお願いします。



四万十町は県内有数の畜産のまち。毎年、畜産フェスティバルを開催

四万十町東部（旧窪川町）は、中央部を南流する四万十川流域の標高230mの高南台地に位置し、約2000haの農地が広がっています。

四万十町中部（旧大正町）は、平野が四万十川、梶原川沿いにわずかに見られますが、そのほとんどを山林が占めています。

四万十町西部（旧十和村）は、中心部を東から西に四万十川が蛇行して流れ、流域沿いに農地が点在。総面積の約9割を山林が占めています。

四万十町を構成する旧3町村は、いずれも豊かな自然環境を基礎とし、人と人とのつながりや心の豊かさを大切にしながら、快適な生活環境の創造を目指してきました。

四万十町は合併により、面積では高知県一、淡路島を超える広さの町域となっただけでなく、それぞれの特色ある自然と歴史・文化が、多彩な広がりを見せています。

昨年10月5日に宣言

平和を願う私たちの心を為政者に知ってもらい、世界から戦争を無くする世界連邦平和運動を日本から始めてもらいたい。本町議会が平成19年9月13日付で、一町民から陳情を受けました。

議会では本趣旨を総務常任委員会にて審議。賛成多数で採択すべきものと決定し、10月5日の本議会で「世界連邦平和町宣言」を行いました。

「世界連邦平和町宣言」は平成13年、旧十和村議会で行っていた経過があり、合併後の四万十町としても引き続き人類恒久平和の確立に努力するものです。

宣言に伴う活動は今後、各加盟自治体の取り組みを励みに、本格化させる予定です。



特産のショウガは品質、作付面積ともに全国有数

本会総会も小金井で

本会の平成20年度定期総会を7月31日、午前11時から東京都小金井市の市民会館で開催します。

午前中に総会を済ませ、午後から「中東和平プロジェクトin小金井」の市民大会にご参加いただくといい計画です。本会の活性化と平和を願うわれわれの熱い思いを伝えるため、ぜひとも多数のご参加をお願いします。

編集室から

プロジェクトにも参加を2年ぶりの中東和平プロジェクト。イスラエル、パレスチナの関係者は事業の継続を望んでいます。必ずしも首長さんには出席いただく必要はありません。総会に続いて多数のご参加をお待ちしています。「平和の種」を国内外でまき続け、大きく育てましょう。(U)